

第1学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主題 部落史から学ぶ（中世～近代）

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

同和問題が現在も解決されていない社会状況であることを理解し、被差別の人の側に立って考えることで、不合理な差別を許さない態度を育てる。

4 指導計画

- 第1回 人権講演会「うたや人から学ぶ人権」…………… 1時間
- 第2回 普遍的な視点から人権を学ぶ（アサーショントレーニング）…………… 1時間
- 第3回 人権講演会「ジェンダー平等と人権」…………… 1時間
- 第4回 部落史から学ぶ（中世～近代）…………… 1時間（本時）
- 第5回 アイヌの伝統文化と人権 …………… 1時間

5 本時の学習

（1）目標

解放令を学習することで部落差別の実態を理解させ、部落差別が未だ解消していない事実を確認し、同和問題を解決していこうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ……………基本的人権の尊重

個人人権課題名……………同和問題

（3）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を 確認する。 ○ 部落差別の現状を 知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容の趣旨を理解させる。 ○ 「同和問題とは何か」、「同和問題解決に向けて国と徳島県の取組」を読み、現在も部落差別があることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部落差別が未だ解消していない事実を理解できたか。(知識的側面)

<p>展開 (40分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「喜びで迎えられた『解放令』」と「五万日の日のべ」を読み、清五郎たちが喜び合った理由や庄屋が嘘を伝えた背景を考える。 ○ なぜ解放令によってさらに差別は厳しくなり、なぜ部落差別はなくならなかったのかを考える。 ○ どうすれば部落差別はなくせるのか、自分たちがやらなければならないことは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当時行われていた部落差別や解放令について、立場による違いを考えさせることで部落差別の実態に気付かせる。 ○ 部落差別が解消しなかった理由をしっかりと考えさせ、自分の考えと周りの考えを比較しながら、全体で共有させる。 ○ 社会の中に差別につながる事柄がないか考え、自分ごととして捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当時行われていた部落差別の実態や解放令を理解できたか。(知識的側面) ○ 自分の意見を伝えたり、相手の意見をしっかりと聞いたりすることができたか。(技能的側面)
<p>まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめをする。振り返りを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに沿って振り返りをさせ、振り返りシートを書かせる。 ○ 自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりすることで、同和問題が私たち一人一人の課題であることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同和問題が一人一人の課題であることに気付き、部落差別を解消していこうとする意欲を高めることができたか。(価値的・態度的側面)